

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月28日

団体名 特定非営利活動法人 NADクラブ
 住所 〒350-114 埼玉県川越市稲荷町18-6
 代表者名 堀内 直和
 (TEL 049-238-0203)

事業の名称	飲酒運転撲滅事業	
協働したい市町村と部署名 ※具体的な市町村名(複数でも可)と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。	川越市役所、ふじみ野市役所 (市及町の啓発活動している部署)	
1. 事業の内容	<p>当法人NADクラブは、設立より日か決く、この活動も、現状進んでおりません。そこで、市との協働により、この活動の場を頂戴したいと思います。</p> <p>事業内容 とにかく、飲酒運転の撲滅を市民に対して啓発して行きたいのです。産米祭等、市の主催するイベントや、交通安全週間などのイベント等、10分でもいいから、時間を頂戴、広報活動をして行きたいと思っております。現在これと言った専米はありませんが、協働して参加させて頂いた方が、見つけたらいいと思います。</p> <p>2. 事業にかかる経費(経費がかかる場合のみ事業総額を記入) なし</p> <p>3. 市町村の役割として期待すること(広報紙によるPR、実施会場の提供等) 広報紙にPRと、各実施会場の提供、イベントの開催の協働。</p> <p>4. 協働によって期待できる成果 広く広報活動が広がり、当法人の位置づけも、理解して頂け活動スペースも広がります。</p>	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月12日

団体名：NPO法人 科学映像館を支える会
 住 所 〒354-0031
 埼玉県富士見市勝瀬34657ムルふじみ野403
 代表者名： 理事長 久米川 正好
 (Tel 048-481-3535)

事業の名称	科学映画の義務教育および一般市民活動への活用
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	教育委員会、市民活動に関係する部署
1 事業の内容 NPO法人科学映像館を支える会は、ドキュメンタリー映画、特に科学映画を中心にフィルムの発掘、デジタル化、普及及び保管活動を行なうため昨年4月創設した。現在138編のドキュメンタリー映画をデジタル化して保管。普及活動としては、インターネットで高画質による配信。いつでも、だれでも、どこでも、いつでも、観られるよう、しかも映画に関する周辺情報をホームページ(800リクエストページ/日)で皆様に提供している。さらに年4,5回の上映会、特にハイビジョンで再生、臨場感ある上映会の企画と運営をおこなってきた。 さらに今後これらの資料を義務教育、一般市民の方に活用していただけるようDVDの貸与し、勉強会、活動の資料にしていきたいと思っている。またメールを登録された方またはグループにはメールを介した情報の提供も行なっている。	
2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 上映会の開催の場合、ホールの借用料、講師の派遣料など	
3 市町村の役割として期待すること（広報紙によるPR、実施会場の提供 等） 広報活動：市民広報、ホームページなどにより出来るだけ多くの人に本法人の活動を知らせて欲しい。そして共同で上映会、勉強会の企画を援助して欲しい。	
4 協働によって期待できる成果 主として会員へのグループメール、ホームページ、ブログで本法人の活動をお知らせし、全国的には、浅く広く相当浸透してきた。市町村との連携により地元と協調した普及活動を行い、地元の方々の活動に資料の提供などでお役にたちたい。	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月23日

団体名 東上線NPOネット

住所 〒353-0006 志木市館2-5-2

代表者名 柴田郁夫

(Tel 048-476-4600)

事業の名称	仮称・ソーシャルビジネス講座・ワークショップ (団塊世代向けの地域デビュー講座も含む)
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名(複数でも可)と部署名を記入。分らない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	西部地域の各自治体 市民活動・市民協働担当課、 コミュニティビジネス担当課、産業振興担当課
<p>1 事業の内容</p> <p>例えば以下のようなセミナーを、貴自治体のニーズにあわせて企画し、実施します。</p> <p>[セミナー名(案)] 退職したら、家で仕事! 雇われない働き方、成功のヒケツ!</p> <p>[概要] とくに中高年層を対象とした、SOHO創業のすすめセミナー。このインターネット時代、もちろん在宅で仕事ができる(テレワークといいます)可能性は大ですが、思いもよらないリスクも。あなたの考えている退職後の姿をシュミレーションしてみませんか。退職前、退職後の方ともに参加OK。営業面でのノウハウとその体験談も満載した実践講習。</p> <p>[時間] 2. 5時間(おおよそ講義1時間弱、ワークショップ1時間半強)</p> <p>[成果品] 「成功までの工程表」、「この1週間のtodoリスト」</p> <p>[参加者定員] 上限10名(最小催行人数2名)</p> <p>[セミナー名(案)] 実践コミュニティビジネス~成功ノウハウ編-1 環境ビジネス</p> <p>[概要] 環境にかかわることで地域を良くしながら自分の仕事にしていきたいという思いの方にうってつけのセミナー。苦労して何年にもわたって失敗・成功を繰り返して得た実践家の成功ノウハウ(とくに営業・販売面での手法満載)を短い時間でゲットできます。続編として -2 福祉介護ビジネス編、 -3 まちづくり編 も予定。</p> <p>[時間] 2. 5時間(おおよそ講義1時間弱、ワークショップ1時間半強)</p> <p>[成果品] 「成功までの工程表」、「この1週間のtodoリスト」</p> <p>[参加者定員] 上限10名(最小催行人数2名)</p>	
<p>2 事業にかかる経費 (経費がかかる場合のみ事業総額を記入)</p> <p>1回当たり 3~5万円 (講習料を徴収するかどうか等によって変動)</p>	
<p>3 市町村の役割として期待すること (広報紙によるPR、実施会場の提供 等)</p> <p>広報紙によるPR、実施会場の提供 費用負担</p>	
<p>4 協働によって期待できる成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団塊世代によるまちの活性化 ・ 自治体内の産業活性化 	
<p>とくに団塊世代向けには、“出口のある講習”を企画します。“出口のある講習”とは、講習を受けただけで終わり、というのではなく、受講生の人たちに、具体的な活動の場(出口)を個別に提供できるということです。例えば環境に関心のある方には地元の環境NPOでシニアインターンをしてもらったり、あるいはサラリーマンだった時のスキルで地域中小企業をサポートしたいという方には、そうしたNPO・団体を紹介できるといったものです。</p>	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成 20 年 6 月 27 日

団体名 NPO法人 東上まちづくりフォーラム
 住 所 〒353-0006 志木市館 2-5-2 鹿島ビル 4 階
 代表者名 柴田 郁夫
 (Tel 048-476-4600)

事業の名称	IT 活用による高齢者の生きがい創出づくり事業	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	西部地域・全市町村の高齢者対策担当部署	
<p>1 事業の内容</p> <p>今後、都市部ほど高齢化率は急速に上昇します。高齢化によってもたらされる地域の問題として、①高齢者は情報弱者として差別され、場合によっては犯罪被害者となる、②定年退職者（特に男性）が地域から疎外され、生きがいを喪失する、の 2 点があげられます。以上の問題を解決する目的で、市町村と連携した以下の事業を提案します。</p> <p>①『シニア情報生活アドバイザー※』による高齢者向け IT 講座の実施 高齢者の生活、生きがいのために IT をどう活用するか of IT 講座です。 （※経済産業省の外郭団体、ニューメディア開発協会が認定する資格。IT 活用により高齢者の社会参加と充実した生活の支援を目的とする制度）</p> <p>②講座の修了者に対するヘルプ インターネット接続、トラブル対応、IT 活用のアドバイスなどを行います。</p> <p>③講座の修了者によるネットワークづくりの支援 IT 勉強会、趣味への活用などテーマごとのグループを作成し、ホームページ内やミーティングにおいて活動できる場を提供し、合わせて指導をします。</p> <p>2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 以下を含め 1 市町村概算 10 万円（年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会実施のための交通費、コピー等実費（テキスト代は受講者負担） ・ヘルプのための通信費、資料検索 ・ホームページ運営費 <p>3 市町村の役割として期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙による PR ・市町村ホームページからのリンク（活動の拠点はホームページを想定している） ・講習会、勉強会の会場提供（例：学校の PC 教室開放など） <p>4 協働によって期待できる成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して IT を活用し、生活の充実を図ることができる ・定年退職者が IT をベースに積極的に地域社会に参画することができる ・市町村の IT リテラシーを高め、インターネットを活用した行政が推進できる 		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成 20 年 6 月 28 日

団体名 NPO法人自然観察指導員埼玉
 住 所 〒350-0165 比企郡川島町中山1110-23
 代表者名 小 峯 昇
 (Tel 049-297-7732/事務局 清水)

事業の名称	越生の自然と文化ふれあいウォーク	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	越生町	
1 事業の内容 「越生ファン」を増やすことを目標とし、「自然に親しみ、楽しむ町づくり」をコンセプトに、地域の自然や文化にふれる「越生の自然と文化ふれあいウォーク」を開催する。 事業は1期3年とし評価を行い、2期目からは、エコツーリズム（地域の自然環境の保全に配慮した地域振興）を想定し、3期目からエコツアーに衣替えする。 初年度の開催は、年6回を目標とする。事業の当日は、参加者に越生町のリピーターとなってもらえるよう観光や物産、イベントの情報を記したリーフレット等を配布する。町外からの参加者は、団塊の世代を中心とした中高年を想定する。 当日のプログラムは以下のとおり。町内向け（小学生と保護者）は1回2時間程度、町外者向けには1日（4～5時間程度）の活動とし、昼食持参または現地調達とする。 （1）オリエンテーション（日程・コース・見所・救急対応） （2）準備体操 （3）見所で案内（動植物・文化財などの解説） （4）ふりかえり（感想、案内や情報提供） 運営は、本法人のスタッフが中心に行うが、2期目以降のエコツアーへの移行やその賛同者を増やすため、歴史や文化財などに明るい地元のスタッフの協力を得たい。		
2 事業にかかる経費 （経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 初年度30万円程度（行事保険、行事材料費・スタッフの交通費・消耗品等）+ α α ＝町外者向け広報をどの程度するかにより費用が大きく異なる。		
3 市町村の役割として期待すること （広報紙によるPR、実施会場の提供 等） 広報紙・ホームページ等によるPR、観光・物産・イベント情報の提供、地元スタッフの募集、打ち合わせ等の会場の提供、来町者の駐車場の提供		
4 協働によって期待できる成果 町民には、先ごろ刊行された「越生の自然」が体感できる行事となり、郷土に対する愛着が高まり、町外者には、埼玉県西部の特徴的な自然をもつ「越生」についてイメージアップが図れ、リピーター化と口コミによる新規来町者が見込める。		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月30日

団体名 NPO法人ICCHシニアサロン川越
 住所 〒350-0817 川越市上戸新町27-2
 代表者名 山家 激
 (TEL:049-232-1715)

事業の名称	中高年者へのIT普及要員の養成	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	川越市 ①高齢者対策の政策企画部署 ②中高年者へのIT普及の担当部署	
<p>1 事業の内容</p> <p>かつて、平成12年～13年にかけて政府主導のもと、全国的にIT講習が行われ、その効果として、現在でも公民館等でIT講習が行われ居りますが、高齢者にとってはそのITスキルを身に付けることはその特殊性から中々難しいと思います。</p> <p>中高年者へITを普及、支援する要員養成の講座として適切な養成講座があります。それは経済産業省の外郭団体である財団法人ニューメディア開発協会が推進している、「シニア情報生活アドバイザー養成講座」です。</p> <p>シニア情報生活アドバイザーとは高齢者がパソコンやネットワークを活用し、より楽しく活動的な生活が出来るようにとアドバイスする資格です。</p> <p>この養成講座を川越市と協働で進めて行くことを提案します。</p> <p>また、この協働プロジェクトは今後中高年者へITを普及し、健康な高齢者を増やして行く中長期的な計画の中での人的なインフラ造りとしてとらえて欲しいと思います。</p>		
<p>2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入）</p> <p>平成20年度は、シニア情報生活アドバイザー養成講座をこれから4回実施するとして450K¥の予算です。予算の詳細は別紙に示します。</p>		
<p>3 市町村の役割として期待すること（広報紙によるPR、実施会場の提供 等）</p> <p>① 広報紙によるPRをお願いします。②シニア情報生活アドバイザーの合格者には受講料の補助をお願いします。（例：受講料32,500-の半額、など）</p>		
<p>4 協働によって期待できる成果</p> <p>高齢者が健康で生き生きとした人達が多くなることにより、高齢者の医療費の削減が期待出来ます。</p>		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年 6月30日

団体名 クリーン&ハートフル川越
 住所 〒350-0034 川越市仙波町3-26-18
 代表者名 武田 侃蔵
 (TEL) 携帯電話 090-2521-5770

事業の名称	まち美化啓発活動 (啓発セッションってお捨てごみ拾いをする)	
協働したい市町村と部署名 ※具体的な市町村名(複数でも可)と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。	川越市	市民部市民活動支援課(協働) 環境部資源循環推進課(お捨)
1 事業の内容		
<p>川越市内の11区周辺及び中心部等を15地域に分け、市民参加でまち美化を図る。 川越市では、お捨てに関する条例は、果の条例に、路上喫煙防止に関しては市の独自条例で対応してはいるが、徹底しておりません。市の中心部の観光スポットだけはきれいでも、他の地域が放置されています。 組織的に継続的に、回数を増やす事業を協働で!!!</p>		
2 事業にかかる経費 (経費がかかる場合のみ事業総額を記入)		
<p>啓発セッション@700円 トーク@100円 200名支給 200人で16万円</p>		
3 市町村の役割として期待すること (広報紙によるPR、実施会場の提供等)		
<p>○ 会員募集に市の広報紙等で協力 ○ 集めたお捨てごみの集積場所及び回収の便を図る</p>		
4 協働によって期待できる成果		
<p>路上喫煙を防止し、散らかるごみのないきれいなまちをつくるには、条例に頼るのではなく、市民相互の啓発と実践活動により成果をあげよう</p>		